

2019年度 広報委員会活動方針

1. 委員会の目的

- (1)関係機関への報告を円滑にするために大会結果や記録を集約する。
- (2)会議や大会を円滑に運営するために、連盟ホームページを運営する。
- (3)必要な情報を共有したり、よりサッカーを楽しんだりするために、札幌市サッカースポーツ少年団連盟の活動内容についての広報活動を推進する。

2. 活動内容

(1)大会結果の集約

I 大会結果集約の流れ

- ①組合せ及び会場の決定 (担当区および各区の代表理事、リーグ戦各ブロック運営委員)
- ②大会要項・大会スケジュールの作成 (担当区・各区広報委員、リーグ戦ブロック運営委員)
→L S I N北海道へE-mailで送付。*大会2週間前まで
- ③メッセージ担当の決定と担当者名簿の一覧作成
(担当区・各区広報委員、リーグ戦ブロック運営委員)
→L S I N北海道へE-mailで送付。*大会1週間前まで
- ④L S I N北海道よりメッセージへスコア速報反映 *大会前夜
- ⑤大会当日試合速報のメッセージ業務(メッセージ担当者)→L S I N北海道
- ⑥札幌地区サッカー協会HPの結果の確認(大会結果に間違いがないか確認する。)
(担当区・各区広報委員、リーグ戦各ブロック運営委員)
※メッセージ業務は、札幌地区協会とL S I N北海道の契約上、義務付けられている。
※通信に関わる費用は会場校に支払われる会場校費等から運用する。

II 結果集約の大会

大会名	担当
U-12 サッカーリーグ in 北海道 札幌地区リーグ 2019	リーグ運営委員
第15回山崎七郎杯8人制少年サッカー大会 兼第16回全道少年(U-10)8人制サッカー大会 札幌地区予選	東区
フジパングループ Presents 2019 ロバパン CUP 第51回全道(U-12)サッカー少年団大会札幌地区予選	手稲区
第33回札幌市スポーツ少年団サッカー交流大会 U-10 大会	白石区
第33回札幌市スポーツ少年団サッカー交流大会 U-11 大会	西区
第38回札幌市スポーツ少年団サッカー交流大会	清田区
道民共済カップ(U-9)サッカー交流大会	広報委員会
トラック協会杯第30回全道少年団(U-11)サッカー大会札幌地区予選	厚別区
第43回全日本U-12サッカー選手権大会 札幌地区プレーオフ	リーグ戦委員会
札幌市サッカー少年団8人制(U-10)大会	豊平区
第2回川口谷正杯U-12秋季少年サッカー大会	南区
平成32年度全道少年(U-11)8人制サッカー大会 兼 第17回J A全農杯チビリンピック小学生8人制サッカー大会札幌地区予選	中央区
第51回会長杯 兼 札幌中島LC supportship 第6回 Savanna Cup Sapporo	北区
札幌市サッカースポーツ少年団室内サッカー大会4年の部	白石区
札幌市サッカースポーツ少年団室内サッカー大会5年の部	西区
札幌市サッカースポーツ少年団室内サッカー大会6年の部	清田区
第29回全日本U-12フットサル選手権大会 札幌地区予選 札幌ブロック予選	フットサル委員会
全道フットサル選手権2020(U-12の部)札幌地区予選	フットサル委員会

III 大会記録写真の撮影

II 結果集約の大会に記された担当者が大会の様子を3～5枚程度撮影し、広報委員長に提出する。

IV その他

○札幌地区サッカー協会の年報作成のために次の大会の結果集約を行っていく。

①全道大会については、公益財団法人北海道サッカー協会に協力をいただき保管していく。

②全国大会については、札幌地区のチームが出場した場合、自チームの結果を中心に広報委員会に結果を提出することを義務づける。

(2)連盟ホームページの作成

○活動内容や連絡事項を周知することをねらいとして連盟ホームページを作成する。

○各委員会の活動方針や活動内容、各種書類データ、連盟広報紙「絆」などを掲載する。

○各委員会及び各区と連携を図りながら、より良い内容になるよう工夫をしていく。

(3)広報紙「絆」の発行

I 内容について

○各大会の様子や結果報告

○少年団連盟および各委員会からのお知らせ・連絡

○その他、掲載内容としてふさわしいと判断したもの

II 執筆割り当て

○大会結果集約を担当した大会・・・リーグ運営委員、担当区の広報委員、各委員会

○少年団連盟各種委員会のお知らせや連絡事項・・・各種委員会の委員長等

III 「絆」の執筆要綱

○大会結果集約の担当区の広報委員、U-12 リーグの各ブロック担当者が責任を持って執筆する。

○個人情報保護の面から、戦評に選手の個人名は入れずに作成する。番号は入れてもよい。

必要に応じて個人名を入れる場合は、指導者と保護者に確認をする。

○ひな形をもとに作成し、担当の大会の絆を完成させ、データを送信する。発行日及びナンバーは委員長が記入する。

○写真も入れて作成することとする。(撮影は各担当者)

○原稿は、大会終了後1週間をめぐり、広報委員長 山崎 まで提出する。

○内容は、各大会の準決勝・決勝の模様を中心とする。また、大会結果のほかに大会中に生じた問題点や反省点があれば随時掲載していく。

IV 「絆」の扱いについて

○連盟HPに掲載し、各チームはそこからダウンロードする。

○団員や保護者の方など関係する方に広く読んでいただくために作成する。各チームでプリントアウトをして全員に配付したり、回覧したりするなど少年団ごとに工夫する。

3. 年間計画

○少年団連盟年間計画に合わせて、随時広報活動を遂行する。

4. その他

I プライバシーポリシー同意書の管理

○各チームは、上記の結果集約や広報活動に用いるチーム情報及び記録写真の使用について、チーム関係者全員に確認を取った上で、プライバシーポリシー同意書を提出する。ただし、特別な配慮が必要な場合は、広報委員長へ連絡をする。

※同意書の効力は、少年団連盟及び広報委員会の活動の範囲のみであり、各チームのホームページ等に他チームの選手が含まれた写真等が掲載されるのは好ましくないとする。今年度も情報モラルの啓発に取り組んでいく。